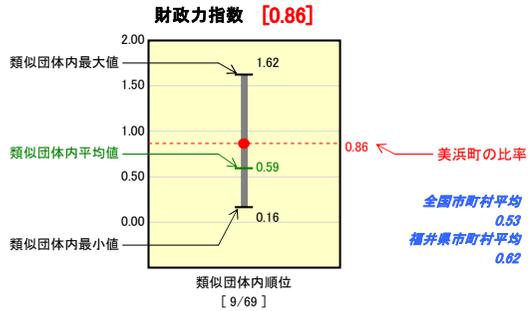


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

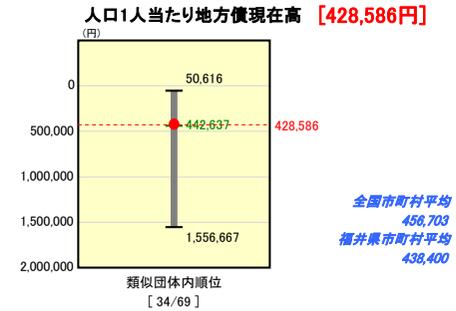
福井県 美浜町

人口	11,179	人(H19.3.31現在)
面積	152.32	km ²
歳入総額	8,213,126	千円
歳出総額	7,867,588	千円
実質収支	299,486	千円

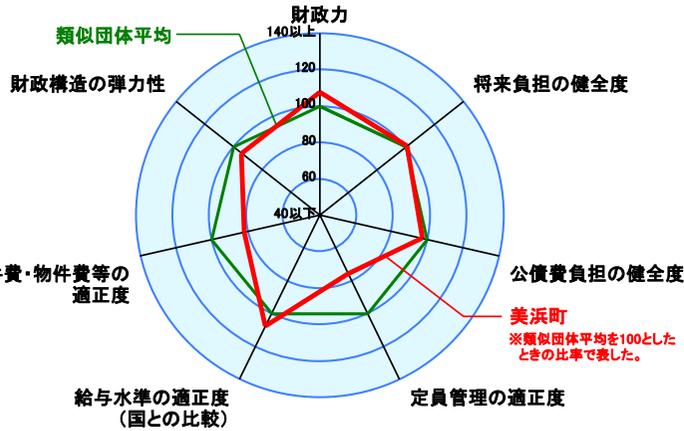
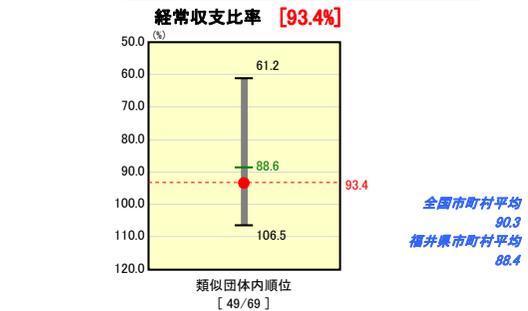
財政力



将来負担の健全度

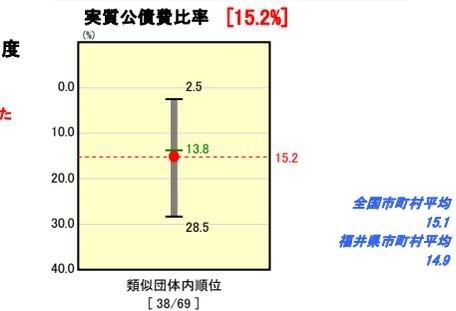


財政構造の弾力性

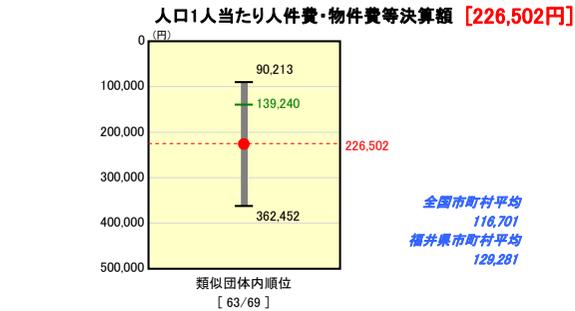


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度

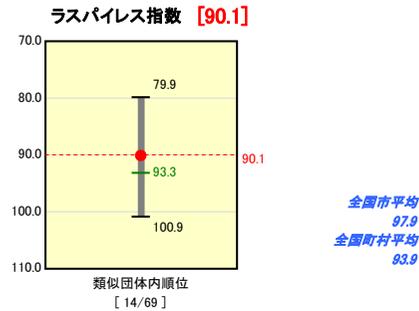


人件費・物件費等の適正度

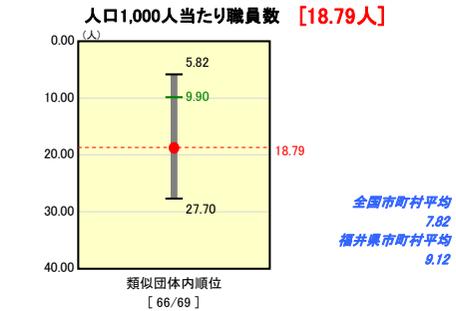


※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準の適正度 (国との比較)



定員管理の適正度



分析欄

●財政力指数

大型企業により法人住民税及び固定資産税の収入が高いため類似団体平均を上回っているが、大規模償却資産に伴う税が平成10年度をピークに年々減収しており、今後も続く見込である。今後は、町税の増収に向け産業団地の整備を行い新たな企業誘致と雇用の場を確保するほか、課税の適正・公平化、滞納整理の強化を図り歳入確保に努める。

●経常収支比率

経常一般財源が減少している上に、一部事務組合の負担金や特別会計への繰出金の増加等により高い数値となっている。今後、定員管理の適正化計画に基づいた人員削減をはじめ、費用対効果を重視した事務事業の行政評価を行うなど歳出削減を進めるほか、収入面でも町税の増収に向けた産業団地の整備を行い、平成23年度までに5%の低下を目標とする。

●ラスパイレース指数

類似団体平均を下回っており、今後も引き続き適正水準の維持に努める。

●実質公債費比率

公共下水道の整備により公債費繰出金が増加していることや一部事務組合で整備したごみ処理施設の償還金の増加により平均を上回っている。公共下水道は平成19年度に面整備が完了するため20年度以降の借入額は減少するが、償還金のピークは平成25年度頃になるため、今後予定している事業は借入額を抑制し、適正水準を確保していく。

●人口1人当たり地方債現在高

類似団体を若干下回っているが、地方債残高の減少に向け、元金償還額以上に借入れないよう抑制に努める。

●人口1,000人当たり職員数

地理的条件により、保育所、学校の設置数が多いことや原子力安全対策、地域改善対策等の特殊な行政需要により類似団体平均を大幅に上回っている。
今後は、平成18年3月策定の「第3次行政改革大綱」に基づき、平成27年度までに15%削減を目指し、より積極的に定員の適正化に努めることとしている。具体的方策として、平成19年4月に行政組織の改編と保育所の再編(7⇒4)を行ったほか、小学校の再編(7⇒4)等についても検討を進めるとともに、非常勤職員等の活用や指定管理者制度の導入等により更なる適正化を図る。

●人口1人当たり人件費・物件費等決算額

特殊な行政需要により職員数が多いこと、中学校や国吉城址公園整備の測量設計委託等臨時的な経費が嵩んだことから、類似団体平均を大幅に上回り、また前年度より増加している。今後は、直営で行っている施設のアウトソーシングや指定管理者制度の導入、定員適正化計画による人員削減、保育園、学校の再編によりコスト低減を図っていく。